



田村市立都路中学校 学校だより 第23号

平成29年3月21日(火)

発行人：校長 富岡 信

TEL：0247-75-2009

Fax：0247-75-2428



めざす生徒像：・自ら学び ・思いやりの心もち ・心身ともに健康な生徒

めざす学校像：・夢がもて ・安心できる ・開かれた学校

朝の読書活動 ～本は心の栄養～

毎朝登校してから8時10分まで読書の時間です。1年生も2年生も静かに本を読んでいます。

この1年、何冊本を読んだでしょうか。本は心の栄養です。たくさん読んで心を豊かにしてほしいと思います。1日が落ち着いた雰囲気スタートできています。



田村市クロスカントリー大会 ～何事にもチャレンジする都中生～

3月19日(日)に田村市陸上競技場において、第2回田村市クロスカントリー大会が開催されました。都路中学校からは、野球部と卓球部から19名が出場し、アップダウンの激しいコースに挑みました。みんなで励まし合いながら自分の限界に挑み、全員みごと走り抜き、完走証をいただきました。何事にも意欲的にチャレンジするという都路中学校生徒を誇りに思います。保護者の皆様、応援ありがとうございました。

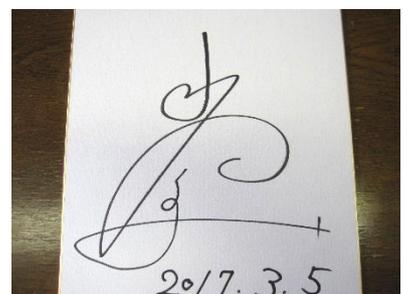
菅野先生と猪俣先生も出場し、菅野先生は2位、猪俣先生は11位とすばらしい結果でした。



水谷隼選手の記念サインをいただきました

クロスカントリー大会に出場した都路中学校卓球部に、田村市の方から水谷隼選手の記念サインをいただきました。

3月5日に開催された「水谷隼トークショー&卓球教室」に参加し、クロスカントリー大会にもたくさん出場したので、記念にいただきました。卓球部ががんばったおかげです。



コツコツが勝つコツ！

熊本に伝わる「彦一とんち話」があります。その中に、毎日の積み重ねはとても大切だという内容の話があります。

数学の授業でも使える話です。考えてみてください。

とんちで有名な彦一が手柄（てがら）を立てました。

殿様：「彦一、おまえにほうびを与えよう。何でも好きなものを言ってみなさい。」

彦一：「そんなにたいそうなものはいりません。今日は米一粒ください。」

殿様：「それだけでいいのか？」

彦一：「はい、今日はそれだけでけっこうです。できれば、毎日、前の日の倍の米粒をいただけますか？」

殿様：「本当にそんなものでよいのか？お前はなんと欲のない男だ。」

「彦一、おまえは得をしないがそれでいいのだな？」

「おまえがいいと言うまで、今日から米粒を与えよう。」

問題1 殿様が言った「彦一、お前は得をしない」は、正しいでしょうか？
正しいか、正しくないか、理由をつけて教えてください。

問題2 彦一は、5日後に米粒を何粒もらえるでしょうか。

問題3 お茶碗1杯分は、米粒およそ4,000粒です。彦一は、何日後にお茶碗1杯分を食べられるでしょうか。

問題4 米俵（こめだわら）1俵（びょう）は、およそ60kgです。また、米粒50,000粒でおよそ1kgです。1か月（31日）目に、彦一はおよそ何俵分の米粒をもらえるでしょうか。

※解答は、2日後に発行する「学校だより第24号（最終号）」に掲載します。

電卓を使用して計算してください。

コツコツ努力することは得かどうか、考えてみてください。